

オンライン公共施設視察 概要

○視察場所

- ・取手市立藤代南中学校（藤代南中）
- ・取手市消防本部（消防本部）
- ・取手市立福社会館（福社会館）

○視察方法

- ・議員は公共施設には行かず、自宅等からオンライン（Zoomアプリ）を通して、視察を行う。
- ・小堤総務文教常任委員長だけは会議室に入室するが、現地には行かない。
- ・現地に行くのは職員のみ。

○視察スケジュール

9：30 藤代南中視察（教育総務課職員・公共施設整備課職員・議会事務局職員）
※視察終了後、公共施設整備課職員と議会事務局職員は、福社会館に移動

↓

10：15 消防本部視察（消防総務課職員・公共施設整備課職員・議会事務局職員）

↓

11：00 福社会館視察（文化芸術課職員・公共施設整備課職員・議会事務局職員）
※文化芸術課職員は、藤代南中視察班と合流

↓

11：45 終了

8月12日総務文教常任委員オンライン視察の所感（メリット・デメリット等）

	メリット	デメリット	改善策
小 堤 委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> • 委員は現場に行かなくても様子が分かった。 • 執行部の方々や事務局の皆さんは大変でしたが、移動時間がなく視察できた。 • 事前に資料配付がなされたため、事前研究することが出来た。 • 現場視察より、説明者の発言に耳を傾けられた。 • 適宜自主的に質問でき、委員みんなで共有できた。 • タブレットによる中継だったが、音声良好だった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 外観から屋上、地階の順でなく、屋上から地階、外観の方が屋上へ昇る間が省けた。 • 自分で見る様子とタブレットから観る様子では差異があった。（カメラワークはなかなか難しいことが改めて分かった。） • タブレット画面に資料（図面）と映像の2分割画面でできれば、さらに分かりやすかった。 	
須 田 副 委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> • 新型コロナウイルス対策の三密を防げる。 • 集団での移動がない為、コストが最小限にて抑えられる。 • リアルタイムで質問等ができるため現地に視察したかのような感覚で行える。 	<ul style="list-style-type: none"> • 担当者が大変。 • 電波状況により音声が聞き取れなかったり画像が粗くなったり固まったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 電波状況の確保 • 画質の改善
根 岸 委 員	<ul style="list-style-type: none"> • オンラインを意識して、事前資料の確認がしっかりなされ、当日の質疑が簡潔で、無駄がなかったと思われる。 • 議員側としては、移動時間がなく、時間短縮になり、とても助かった。 	<ul style="list-style-type: none"> • 今回は、以前実際訪れたことのある建物だったため、確認が容易でしたが、初めての場所ではどうなのだろうかと思った。 • 揺れる画面を凝視していたので、途中で酔うかも??と一瞬よぎったが、大丈夫だった。 • 画像は思ったより鮮明で見やすかったが途中、電波状況が悪いところがあり、画面が静止した時間があった。（福祉会館） 	

<p>染谷委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初めてにしては良い視察だった。 	<ul style="list-style-type: none"> カメラのブレが気になった（広角のカメラやジンバル等を使えば解消か？）。目が疲れた。 時々映像が途切れるのは仕方なさそう。（特に室内の奥） 現地を知っているので問題はないが、初めての場所の場合は分かりやすさに課題がある。 最初に全体の映像等が必要。 	
<p>吉田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 効率的で有効な手段。今後も用いていくべき。 議員側は快適に視察を行うことができた。職員は大変だったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよくしていくにはカメラなど機器の改善。 	
<p>結城委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 移動がないので時間ロスがない。 議員の移動事故の心配がない。 自宅から視察が可能なので便利。 初の試みとしては上出来だったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインだと材質などの細かい質感が分からない。 現場の空気感がない 通信状況が変化すると画質がフリーズや音声聞きづらい。 iPadでzoomしながらサイドブックスの資料を開くと自分の画面がフリーズする。 今回は知っている場所なので良くわかったけれど、初めての場所だと厳しいかもしれないと感じた。 	

赤羽委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の皆さん暑いところお疲れさまでした。総じて満足の結果だと思った。 ・ 私はタブレットを横に置いて、パソコンから zoom にアクセスし、送られて来た資料を見ながら参加していたため、とても分かりやすかった。 ・ これからも、zoom を有効に使った取り組みを研究していきましょう。職員の皆様お疲れさまでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲を言えば、カメラが揺れたり、左右の動きが早かったりと見にくい点もありましたが、これからの研究課題だと思った。 	
加増委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での視察として、また今回は熱中症回避という事もあり必要と感じた。今後出てくる可能性はあるかと思う。 ・ 苦勞して担当課、事務局の皆さんの、「細かいところまで写したい」という熱意は感じた。 ・ 前もって資料と順序が示されていたので、分かりやすかった。 ・ 福祉会館のエアーカーテンなどその効果も話され、市民にも喜ばれることだと思う。 ・ 普段見られない消防署の中も丁寧に説明され、働いているみなさんの苦勞が分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体像が分からない点もあり、実際現場に行ってみるとよく分かると思ったが、映像で見るのには限界かなとも感じた。 ・ 音声時々聞こえにくいときもあった。難しい。 	
齋藤議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場に行ったように見られた。 ・ どこからでも参加できる。 ・ 議員は効率的だった。 ・ 議会事務局のストーリー展開に感謝。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声と画像の乱れ ・ 全体を通して、事前準備が大事。 ・ 進め方、運び方、何をさせる、何を見るの目的を明確にしないと効果が半減する恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お互いに実践を積み重ねてまいりましょう。

<p>早稲田大学マニフェスト研究所 (中村氏)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大成功だと思います。9時半で38.8度の中、クーラーの効いていない密室の学校の現場で大変お疲れさまでした。こういう人がいて初めてオンライン現地確認が出来ると思います。 ・3密を避けるため、最少人数（事務局職員と執行部担当職員のみ）で現地説明が実施できる方向性が見えた。 ・説明者の声も途切れず正確に聞き取れた。 ・現場説明者と議員とのやりとりもスムーズにできた。 ・その都度、議員から質問することもでき、納得度が高まる取組も出来た。 ・議員の手元には資料があった(?)ため、資料と現場確認をする場合はオンラインのほうが有効な場合があることも確認できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が早口だと画面を見ながらついていくのに必死になる。 ・説明が次から次へと展開されるので（画面もそのペースで動く）、「あっ、もっと照明の説明のときに照明をじっくり観察したかったな」と思っても画面が動いて次の説明になっているので、じっくり確認がしづらい。 ・カメラのズームが必要な時もある（実物を大きく観察したい場合、カメラのズームは使えるのか?） 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明者が携帯電話で自撮り棒などを使って、カメラを切り替えつつ、説明したほうが、説明者が「ここを説明したい」「ここを見てほしい」というのが伝わりやすいのではないかと? ・あるいは、説明者とカメラ担当者（Zoomにつないでいる機器を持っている人）が「今から〇〇のことを説明します」「ここをみてください」等と一つ一つの説明する際の導入言葉を決めておいて、説明とカメラとが連動するようにする。 ・ゆっくりと説明する。
<p>議会事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回目としては成功だった。 ・委員の移動時間もなく効率・効果的。 ・もしも開校時であったら、大勢の委員で行くことはコロナ禍においては感染拡大防止の視点から配慮すべきであり、この方法は有効。 ・担当課が順路など事前に丁寧な資料を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温が暑い場所での撮影は、タブレットの温度が上昇し、動作や回線が重くなった。 ・タブレットに付与されている集音マイクのため、声が聞こえづらい。 ・福祉会館などの内部は回線の電波が弱く映像動作が不安定だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高温の場所で実施する際は、保冷剤など機器の温度を下げる必要。または、撮影機器がほかに良いものや良い手段がないかを見出す。

	<p>していただいたため、あらかじめ委員がイメージしたり、資料を見ながら現場の様子を同時に確認できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 委員長が指名制を採用しなかったため、気になる場所で、各委員から確認事項等随時発言できた。 • 委員以外も現地調査することができた。 • 委員の出張経費がかからない。 • オンラインで出た改善意見をすぐに改善対応してくれた。(福祉会館トイレ表示) 	<ul style="list-style-type: none"> • 映像のブレ • 説明者の声量や話すスピード 	<ul style="list-style-type: none"> • 説明者にピンマイクなどを考える。 • 貸与タブレットと個人所有機器の2台で映像と資料を分けて見るとよりわかりやすい。 • ゆっくり、はっきり話す意識付け。
--	---	--	---